

トリアージの問題点と法制化

トリアージは、患者の重症度と緊急度に応じて、赤色、黄色、緑色、黒色のタグを付けて、搬送・治療の優先順位を付けることである。限られた医療資源で可能な限り患者を救命するためである。しかし、この判断が相対的であり、また、時間の経過で変化することから事後的に見るとミスであるとして損害賠償や業務上過失致死罪等の責任を負う可能性がある。また、実施主体が医師に限られるか看護師等も可能かについても疑義がある。これらの問題点を明らかにし、医療従事者が安心して災害医療を行えるための免責や権限についての法制化について説明をする。

講師 永井 幸寿 氏

日時 2023年6月8日（木） 13:00～14:30

場所 関西大学 高槻ミューズキャンパス
西館5階 ミューズホール

申込不要
入場無料



永井 幸寿（ながい こうじゅ）氏プロフィール

アンサー法律事務所 所長

2017年衆議院憲法審査会で参考人意見陳述、
日本弁護士連合会災害復興支援委員会・緊急時法制PT座長、日本災害復興学会監事、
著書に「憲法に緊急事態条項は必要か」（岩波書店）ほか多数